

第30回全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 道南ブロック予選 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ると共に、第30回全日本 U-12 フットサル選手権大会北海道代表決定戦の道南ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第30回全日本 U-12 フットサル選手権大会北海道代表決定戦 道南ブロック予選
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 函館地区サッカー協会
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会
6. 期 日 2020年3月21日(土)
7. 会 場 函館アリーナ
函館市湯川町 1-32-2 TEL:0138-57-3141
8. 参 加 資 格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2008年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2008年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 本大会の地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (5) 各地区の大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
 - (6) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000円
9. 参加チームとその数 苫小牧地区:3チーム、室蘭地区:3チーム、函館地区:3チーム
10. 大会規定
 - (1) 1グループ3チームとして、3グループでリーグ戦を行い順位決定する。
 - (2) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - (3) リーグ戦における順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内での総得失点差
 - ⑤ グループ内での総得点数
 - ⑥ PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

11. 競技規則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。
12. 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。
- (1) ピッチ
- ・大きさ: サイズは原則として、32m×16m
 - ・センターサークル: 半径2.5m
 - ・ペナルティーエリア四分円の半径: 5m
 - ・ペナルティーマーク: 5m
 - ・第2ペナルティーマーク: 8m
 - ・交代ゾーンの長さ: 4m
 - ・タイムキーパーの机の前のエリア: ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
- ・フリーキック: 4m
 - ・コーナーキック: 4m
 - ・キックイン: 4m
- (3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。
- (4) 競技者の数
- ・競技者の数: 5名
 - ・交代要員の数: 10名以内
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。
- (6) ユニフォーム
- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - ⑥ ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑦ その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。
- (7) 靴
- キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。
- (8) ビブス
- 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) 試合時間
- ① 20分間(前後半各10分間)のランニングタイムとする。
 - ② ハーフタイムのインターバルは3分間とする。
13. 懲 罰 (1) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、3 地区委員長で議論したうえで本大会主管協会である函館地区サッカー協会の大会規律委員会で決定する。

14. 参加料等

参加料 11,000 円(消費税込)

15. 参加申込

- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名とする。
- (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、期日までに所属地区サッカー協会を通じて申し込み先に E-mail で送付すること。
※チームは事前に所属地区協会の申込みアドレスを確認すること。
- (3) 参加料 11,000 円(消費税込)は、大会当日本部へ納入すること。
- (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を大会当日本部へ提出すること。なお、2019 年度中に提出済みの場合は不要。
- (5) 申込締切日 2020 年 3 月 4 日(水) 17 時まで 厳守
- (6) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。
- (7) 申込先 函館地区サッカー協会
E-mail: atsuya@ms2.ncv.ne.jp
・参加申込書(E-mail)
※選手登録番号を必ず記載のこと
・地区予選結果(E-mail)
(所属地区サッカー協会が送ること。)
・プライバシーポリシー同意書(E-mail)
・懲罰アンケート(E-mail)

16. 組合せ

組み合わせは、函館地区サッカー協会において決定する。

17. 帯同審判

- (1) 参加チームは、公認審判員 3 級以上を 1 名帯同すること。その氏名・級を参加申込書に記載すること。
- (2) 帯同審判は大会期間中、審判業務に当たらせるものとする。
- (2) 審判員 1 名を帯同できない場合は本大会に参加できないものとする。

18. 監督会議

- (1) 日時： 2020 年 3 月 21 日(土) 9 時 30 分から
- (2) 会場： 函館アリーナ 運営本部室

19. 開会式

開会式は行なわない。

20. 表彰

- (1) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。
- (2) 北海道予選への出場権を獲得した 3 チームのみ参加すること。

21. 負傷及び事故の責任

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

22. その他

- (1) 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を、監督会議及び試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、KICKOFF から出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。
- (2) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区協会を通じて電子メールにより主管協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。

- (3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (6) 各グループ1位の3チームは、JFA バーモントカップ第30回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦への参加を義務づける。

以上